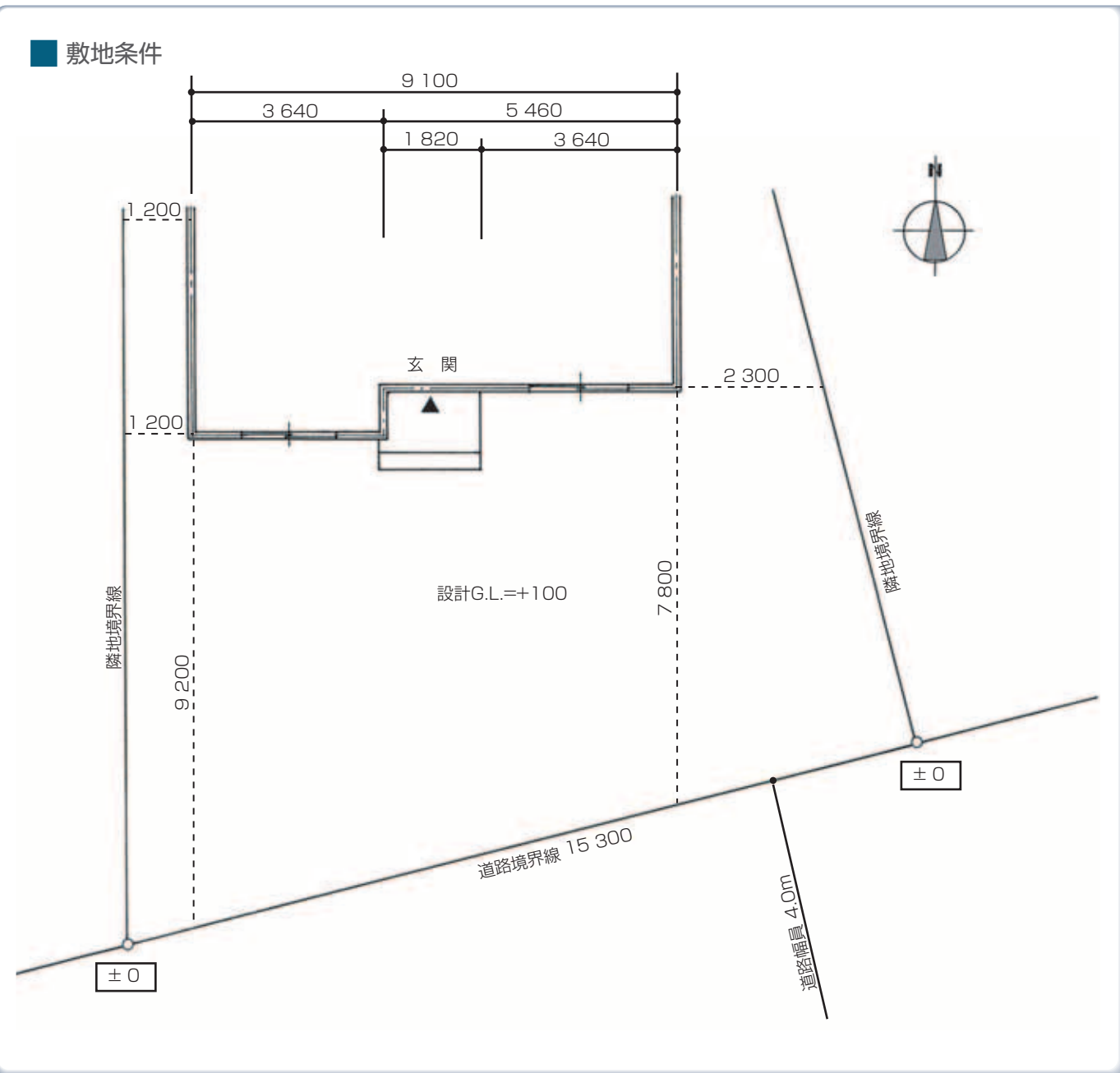


## 第7回目の課題について

それでは今回の新しい課題をご覧くださいませ。敷地の条件は下記の通りで、南入りの敷地となっています。道路と敷地の高低差は100mmとなっており、変形敷地に住宅が配置されています。

下記の敷地条件や施主の要望を踏まえて、ゾーニング図・平面図・立面図（可能であればパース図）を作成し、次号の模範プランと比較できるように準備しておいてください。



## 施主の要望

- スタイルはまったくのオープンでは落ち着かないのでセミオープン程度で提案してください。
- 道路から室内が丸見えにならないようにしてください。
- 駐車場は2台分確保してください。
- 敷地が変形しているのでそれを考慮してデザインしてください。
- 東及び西側隣地境界には内積みでブロックフェンスを設けてください。

## 「私ならこう考える！ゾーニング手順と計画時のポイント」

今回も私がプランニングする際に、どのようなことを考えているのかその一部をご紹介します。プランニングの参考にしてみてください。

### 変形敷地に対するプランの考え方

今回の課題では変形敷地に対して、いかにスッキリと各ゾーンを納めるかがポイントとなります。変形敷地はデッドスペースが生じやすく、そこをデザイン的にどのように処理するかが腕の見せどころとなるでしょう。

このような敷地の場合はグリッドを描き込んでみるとイメージがつかみやすくなりますので、その手法をご紹介します。

**Step-1**  
まずは道路境界線を基準に等間隔でグリッドを引いてみます。(図-1)

**Step-2**  
今回は2台駐車なので庭のスペースを比較的確保しやすいL型駐車をイメージしてグリッド内にレイアウトしてみます。

**Step-3**  
すると、建物と駐車場の間のスペースが変形してしまい、庭のデザインがちょっと難しくそうです。

**Step-4**  
次に建物の外壁ラインを基準にグリッドを引いてみます。(図-2)

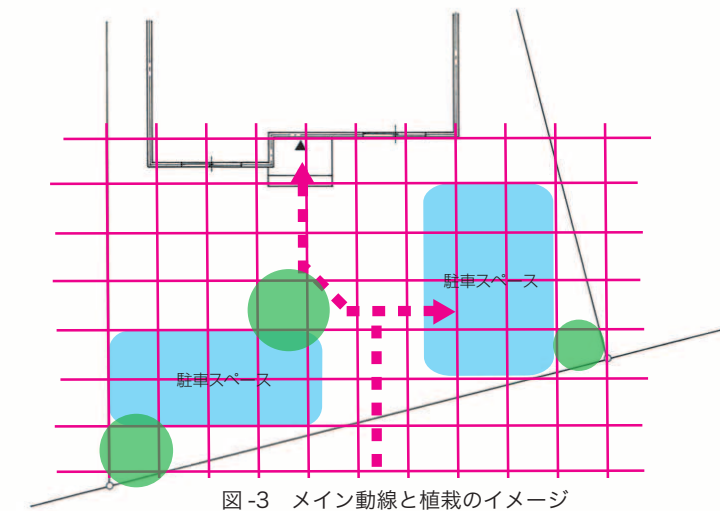
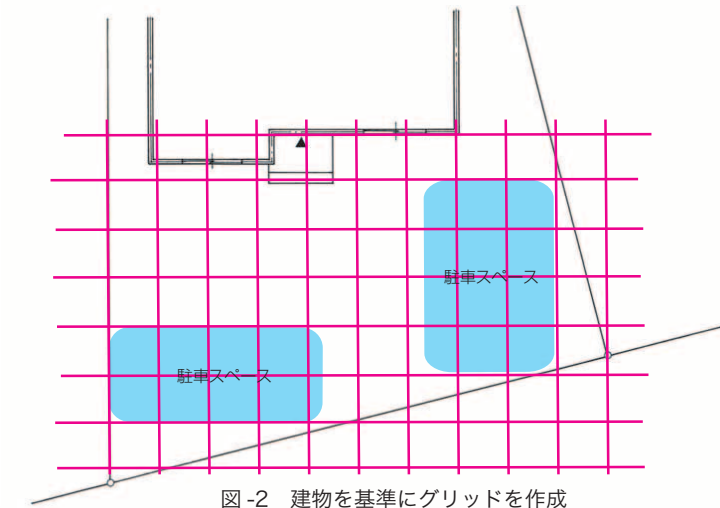
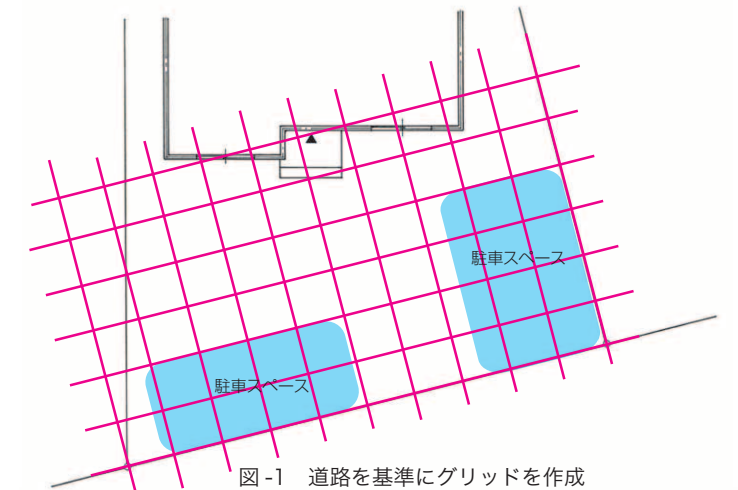
**Step-5**  
そして同じくL型の駐車パターンでグリッド内にレイアウトしてみます。

**Step-6**  
これですとガーデンスペースがスッキリとした形で残るので、庭のデザインも考えやすくなりそうです。

**Step-7**  
但し、前面道路及び東側隣地境界側に三角形のスペースができてしまったので、ここをどのように処理するかがポイントとなりそうです。

**Step-8**  
このスペースは積極的に植栽スペースとしファサード部分の緑量をしっかり確保したプランにすると良さそうです。(図-3)

**Step-9**  
あとは道路から室内が丸見えにならないよう配慮しながらプランを進めてみましょう。



模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上のことを踏まえて素敵なプランを考えてみてください。